

## ■11月18日

ソラシド、羽田線5路線で値上げ、来年2月から

スカイネットアジア航空(ソラシド)は15日、スカイマーク、AIRDOに続き、宮崎—羽田線など5路線の国内線普通運賃を、来年2月搭乗分から引き上げると発表した。

同社は、新造機材への更新、リース形態の変更、燃料節減など費用構造改革を全社で取り組んだが、円安進行の影響、燃油価格の高止まりにより、企業努力でまかなえる費用削減の範囲を超えていると利用者に理解を求めた。

今回値上げを決めた5路線は、羽田—宮崎線・羽田—熊本線・羽田—長崎線・羽田—鹿児島線・羽田—大分線。

## ■路線別値上げ例は以下の通り

対象路線	1月通常期(片道普通運賃)	2月通常期(片道普通運賃)
羽田—宮崎線	30,500円	33,500
羽田—熊本線	30,500円	33,500
羽田—長崎線	33,500円	36,500
羽田—鹿児島線	33,500円	36,500
羽田—大分線	29,500円	32,500

日刊航空によると、大手2社をはじめ国内航空会社各社はかつて、燃油市況の急激な値上がりに伴い当時は2005年から毎年4月1日搭乗分運賃から2008年まで4年連続で国内線運賃を値上げした。しかし、今回は来年4月には消費税率が現行の5%から8%に引き上げられることが決まっており、航空会社には、消費増税と同じタイミングでの運賃値上げ実施が“便乗値上げ”と消費者に映りかねないため、4月改定を避けたい心理があるようだ。

また、値上げ幅に関しては、前回2008年4月は、大手2社で普通運賃を平均で約9%値上げ、割引運賃利用者も含めた国内線全旅客平均の値上げ率では約2.6%となった。スカイマーク以外の新規航空会社3社は普通運賃で6—10%値上げを行った。

(FlyTeam) 11/15

<http://flyteam.jp/news/article/28497> (-> <http://flyteam.jp/news/article/28497>)

(日刊航空) 11/15

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

(ソラシドプレスリリース) 11/15

<http://www.skynetasia.co.jp/corporate/pdf/press131115.pdf> (-> <http://www.skynetasia.co.jp/corporate/pdf/press131115.pdf>)

<http://www.skynetasia.co.jp/fare/rute/oita-hane/201401.html> (-> <http://www.skynetasia.co.jp/fare/rute/oita-hane/201401.html>)

## FDA、丘珠空港に初の旅客ジェット

フジドリームエアラインズは16日、名古屋・小牧空港から丘珠空港に小型ジェット旅客機ERJ170(座席数76席)のチャーター便を運航した。客を乗せたジェット旅客機が丘珠を発着したのは初めて。

チャーター便は、札幌の経済人らでつくる丘珠研究会が企画し、丘珠と名古屋・小牧空港を往復。丘珠の駐機場の舗装強度を考慮し、乗客を着陸便66人、出発便65人に絞った。

読売新聞によると、FDAの内山拓郎副社長は、今後のジェット機の運航について「冬場は天候の問題もあり難しい。来年夏以降にチャーター便などを考えたい」と話した。

丘珠空港では1956年に民間旅客機の運航が始まり、利用者数は1974年に70万人を超えたが、航空各社がジェット化を進めるにつれて減少している。現在、1日の発着枠の上限44便に対し、利用は22便程度にとどまっており、活性化が課題となっている。

(北海道新聞) 11/17

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/hokkaido/news/20131117-OYT8T00010.htm> (-> <http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/hokkaido/news/20131117-OYT8T00010.htm>)

(読売新聞)11/17

<http://www.hokkaido-np.co.jp/news/donai/504671.html> (-> <http://www.hokkaido-np.co.jp/news/donai/504671.html>)

JTA、2013年中間期決算、経常利益11.2%増、過去最高

(琉球新報によると)

日本トランスオーシャン航空(JTA)は15日、2013年9月中間決算を発表した。営業収益は、旅客収入や航空機整備受託の増加で前年同期比3・7%増の209億4100万円となった。機材削減で整備費や機体リース料などの営業費用を圧縮し、経常利益は11・2%増の29億2200万円と過去最高益を記録した。純利益は9・6%増の15億7700万円、過去2番目の水準だった。

営業収益の約8割を占める旅客収入は1・8%増の172億9千万円。日航から路線移管を受けた那覇—関西線や羽田—石垣線の増収が寄与した。

旅客数は3・5%増の138万1284人。貨物・郵便収入は県内路線の減収で0・2%減の13億1千万円となった。JALグループ各社からの受託事業などの付帯事業収入は33・3%増の18億3千万円。JALグループのほか、海上保安庁や天草エアラインからの航空機整備受託が増えた。

一方、14年3月期の業績見通しを修正。5月の発表時に比べ、営業収益が1億2500万円減の397億6400万円、経常利益が1億5900万円増の40億3300万円、純利益が1億3700万円増の22億6400万円とした。

(琉球新報)11/16

<http://ryukyushimpo.jp/news/storyid-215386-storytopic-4.html> (-> <http://ryukyushimpo.jp/news/storyid-215386-storytopic-4.html>)

セントレア、2014年3月期中間決算、増収増益、4期連続黒字

中部国際空港株式会社は15日、2014年3月期中間決算(連結)を発表した。これによると、売上高は230億2,100万円(前年同期比5.8%増)、営業利益31億3,800万円(同24.8%増)、経常利益23億0,300万円(同53.3%増)、中間純利益は20億1,100万円(同79.3%増)となった。中間期としては増収増益、4期連続の黒字を計上した。

同社では、空港・商業・交通アクセス全事業で前年同期を上回る売上を達成、空港事業については国内線と貨物便で新規就航・増便が相次ぐなど、これまでの取り組みが実を結んだと振り返った。国内線は特に、本邦LCCが就航した福岡・札幌・鹿児島 の3路線においては、各路線とも旅客数が前年同期比で2割から5割程度増加しており、中部地域にLCC需要拡大のポテンシャルが大きいことが実証されたと評価した。

(日刊航空)11/18

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

(セントレア IR情報)11/15

[http://www.centrair.jp/corporate/ir/pdf/h26\\_chukan.pdf](http://www.centrair.jp/corporate/ir/pdf/h26_chukan.pdf) (-> [http://www.centrair.jp/corporate/ir/pdf/h26\\_chukan.pdf](http://www.centrair.jp/corporate/ir/pdf/h26_chukan.pdf))

合併後の「アメリカン航空グループ」、ナスダックスへ

アメリカン航空とUSエアウェイズは15日、12月に合併実現後の株式をナスダック市場に上場すると同市場の運営会社に申請したと発表した。合併新会社の社名は「アメリカン航空グループ」。

日経によると、アメリカンのホートン最高経営責任者(CEO)は、他の米航空大手が上場するニューヨーク証券取引所ではなく、ナスダックを選んだ理由について「イノベーションと効率性に支えられた最新鋭の取引基盤がある」と説明した。ナスダックに複数ある市場のうち最も基準が厳しいとされる「グローバル・セレクト市場」に上場する。

(日経)11/16

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM1600H\\_W3A111C1NNE000/ \(->](http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM1600H_W3A111C1NNE000/)  
[http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM1600H\\_W3A111C1NNE000/\)](http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM1600H_W3A111C1NNE000/)

中華航空社長、LCC市場へ参入の意向

(WSJによると)

中華航空(チャイナエアライン)は、早ければ12月にも格安航空市場への参入を発表する可能性がある。アジアで急拡大するこの市場で、台湾企業として初めて競争に挑む。

チャイナエアラインの孫洪祥・総経理(社長)は15日に行われたインタビューで格安航空会社市場に関して、「最初から爆発的な成長は期待していないが、この市場に不在でありたくはない」と述べた。

(WSJ)11/16

[http://jp.wsj.com/article/SB10001424052702304698204579200723141659390.html \(->](http://jp.wsj.com/article/SB10001424052702304698204579200723141659390.html)  
[http://jp.wsj.com/article/SB10001424052702304698204579200723141659390.html\)](http://jp.wsj.com/article/SB10001424052702304698204579200723141659390.html)